

## 笑顔届ける朝市「あかいつこカンパニー」



東松島市赤井地区に子どもたちが中心となり、「赤井の野菜を食べてほしい人市」を運営する「あかいつこカンパニー」がある。

東日本大震災から理想のふるさとを考える「ぼくとわたしの復興計画」をきっかけに誕生した活動で、子どもたちと地域の方たちが話し合い、

「みんなが喜び、交流できる場」として、地元赤井の農産物を販売する朝市をすることになった。

地域の方から「赤井の歴史」や「仕事」の話聞くことで、世代を超えた新たな交流が生まれ、名取市の閑上朝市や青果市場を見学して、商売の感覚を身につけた。

子どもたちは会社の立ち上げからロゴのデザイン、名刺づくりなどに本格的に取り組んでいる。

また、野菜の美味しさを伝え、生産者と消費者をつなぐ役割を担い地域の方たちに笑顔をお届けしている。

この活動により、地域に未来に向かう希望が生まれたとして、平成27年の「グッドデザイン賞」にも選ばれた。

「あかいつこカンパニー」のような子どもたちの活動が、地域の元気につながり、農業の将来に向けた起爆剤になっていくことを期待している。

